2026年11月13日

各　位

会 社 名　　株 式 会 社 ソ フ ト テ ッ ク ス
代表者名　　代 表 取 締 役 社 長　石 黒　佳 彦
(コード番号550A 東証スタンダード 名証メイン)
問合せ先　　常 務 取 締 役　中 島　拓 穂
(TEL. 052 - 731 - 7871)

2027年３月期第２四半期（中間期）業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2026年５月15日に公表いたしました2027年３月期の第２四半期（中間期）の業績予想値と本日公表の同実績値に下記のとおり差異が生じましたのでお知らせいたします。

記

１．2027年３月期第２四半期（中間期）業績予想値と実績値との差異
（2026年４月１日～2026年９月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	１株当たり中間純利益
前回発表予想（A）	1,858	71	62	36	39円95銭
実績値（B）	1,779	41	27	15	17円72銭
増減額（B－A）	△79	△30	△35	△21	－
増減率（%）	△4.3%	△42.3%	△56.5%	△58.3%	－
(ご参考)前年同期実績 (2026年３月期第２四半期)	1,738	94	95	63	82円07銭

（注）2025年11月17日付で普通株式１株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため、前事業年度期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり中間純利益を算定しております。

２．差異の理由

当中間会計期間の売上高は、以下の要因により、前回発表予想を下回りました。

ソフトウェア開発サービスのうち、防災ソリューションでは、第１四半期に引き続き、前期に受注した大型案件に代わる受注を十分に確保できず、売上高が減少し、有償稼働率も低下しました。また、主要顧客からの受注や新規案件の獲得が計画を下回りました。

クラウドソリューションでは、技術者支援が当初予定の時期より早く終了しました。また、技術者支援における開発業務の一部を請負案件として切り出す取り組みも、計画どおりに進みませんでした。

モビリティソリューションでは、既存案件のシステム本稼働が延期され、新たな案件への移行が遅れました。これらの結果、ソフトウェア開発サービス全体の売上高が計画を下回りました。

医療ITサービスでは、オンライン資格確認システムに関連する補助金事業の開始が遅れました。これに伴い、医療機関における導入時期が後ろ倒しとなり、売上高が計画を下回りました。

利益面では、ソフトウェア開発サービスにおける売上高の減少や技術者の稼働率低下が影響しました。クラウドソリューションでは、技術者支援での外注活用が増加し、利益率の高い開発請負案件の受注が計画を下回ったことも、利益を押し下げました。

医療ITサービスでは、売上高が計画を下回ったほか、導入機器の仕入価格の上昇により、材料費が当初の見込みを上回りました。さらに、貸倒引当金繰入額及び貸倒損失の計上も、利益を押し下げました。

一方、モダナイズソリューションの利益は計画を上回り、販売費及び一般管理費も当初の見込みを下回りました。しかし、これらでは前述の減益影響を補いきれず、営業利益は前回発表予想を下回りました。

なお、新規上場に伴う費用は、当初から営業外費用として業績予想に織り込んでおりました。前述の利益減少要因により、経常利益及び中間純利益についても、前回発表予想を下回りました。

３．通期業績予想について

通期業績予想につきましては、下半期に全社で予算を上回る受注の確保と技術者の稼働率改善を見込んでおり、現時点では、2026年５月15日に公表いたしました通期業績予想は変更しておりません。今後業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

※上記記載の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以　上